

1 基本項目	事務事業名	ものづくり人材定住促進事業				担当部署	課等名	企画政策課
	予算事業名	ものづくり人材定住促進事業					係名	企画係
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1067
	事業期間	開始年度	平成29年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計
	目標名	目標3. 輝くまち					款	総務費
	政策名	政策11. 新たな価値と活力を創出するまちづくり					項	総務管理費
	施策名	施策27. 雇用・労働環境の充実					目	企画費
	基本事業名	基本事業27－1. 雇用の促進				総合計画主な事業	記載なし	
	根拠法令					総合戦略との関連	関連あり（評価対象）	
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連なし	

2 事業概要	事業概要	北陸職業能力開発大学校の学生を対象にした奨学金制度	
	対象	北陸職業能力開発大学校学生	
	手段 (活動指標)	奨学金の貸与	
	意図 (成果指標)	ものづくり人材の魚津市定住を推進するため	

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 奨学金貸与者数	人	6	3	1	0	0.0%	3
		②							
	成果	① 卒業した貸与者数のうち魚津市在住者数	人	7	8	10	7	70.0%	7
		②							

4 コスト情報	区 分		単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費	事業費合計 (A)	円	2,565,600	1,170,000	390,000	0	-100.0%	1,678,000
		①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他（使用料、雑入等）	円	250,000					1,678,000
		⑤一般財源	円	2,315,600	1,170,000	390,000			
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
		②年間所要時間	時間	100	100	100	200	100.0%	200
		③人件費（②×@ 3,956 円）(B)	円	395,600	395,600	395,600	791,200	100.0%	791,200
	総 費 用 (A+B)		円	2,961,200	1,565,600	785,600	791,200	-49.5%	2,469,200

5 取組内容	令和5年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	奨学金継続貸与希望者がいなかった。 卒業後や返還が必要になった場合の、事務の整理等を行った。	

6 評価	評価の視点	R4評価	R5評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥 当 性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
					② 目的の妥当性	1 妥当である
					③ 対象の妥当性	1 妥当である
	有 効 性	A	B	事業の統合まではいかないが進め方に改善が必要	① 目標達成度	3 低い・未実施
					② 類似事業の有無	2 検討の余地あり
					③ 上位施策への貢献度	1 高い
	効 率 性	B	B	進め方等の改善が必要	① コスト効率	2 普通
					② 実施主体の適正化	1 適正である
					③ 負担割合の適正化	1 適正である
	結果 (課長総括)	A	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	不要	
	1 次評価	現状を維持 ○事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針 の 説明 等	令和2年度でいったん新規受付を停止し、令和5年度には継続貸与者もいなかったが、能開大の応援、ものづくり人材育成への支援ということで令和6年度より新規受付を再開することとなった。	2 次評価	

1 基本項目	事務事業名				若者雇用促進事業	担当部署	課等名	商工観光課				
	予算事業名				若者等雇用促進事業		係名	商工労働・企業立地係				
	事務区分				自治事務		電話番号	0765-23-6195				
	事業期間				開始年度	平成31年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名				目標3. 輝くまち				款	労働費	
		政策名				政策11. 新たな価値と活力を創出するまちづくり				項	労働諸費	
		施策名				施策27. 雇用・労働環境の充実				目	労働諸費	
		基本事業名				基本事業27－1. 雇用の促進				総合計画主な事業		記載あり（評価対象）
	根拠法令								総合戦略との関連		関連あり（評価対象）	
	アウトソーシング導入状況				アウトソーシング導入済（協働）				集中プランとの関連		関連なし	

2 事業概要	事業概要	求人を行う市内事業所と新卒学生・求職者等のマッチングを図るため、合同企業説明会を開催する。	
	対象	市民	
	手段 （活動指標）	民間企業による合同説明会の開催支援。	
	意図 （成果指標）	市内事業所の魅力を若年者に伝え、雇用を促進する。	

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 合同企業説明会の開催件数	件	1	1	1	1	100.0%	1
		②							
	成果	① 合同企業説明会参加者求職者数	人	240	180	180	120	66.7%	180
		② 合同企業説明会参加企業数	社	22	29	30	33	110.0%	40

4 コスト情報	区 分		単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費 内訳	事業費合計 (A)	円	137,500	247,500	550,000	192,500	-22.2%	550,000
		①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他（使用料、雑入等）	円						
		⑤一般財源	円	137,500	247,500	550,000	192,500	-22.2%	550,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
		②年間所要時間	時間	100	100	100	100	0.0%	100
		③人件費（②×@ 3,956 円）(B)	円	395,600	395,600	395,600	395,600	0.0%	395,600
	総 費 用 (A+B)		円	533,100	643,100	945,600	588,100	-8.6%	945,600

5 取組内容	令和5年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	（事務事業の内容） 民間企業と共催で高校生合同企業説明会開催（6/16：会場、ありそドーム 参加高校生数約120名 出展企業数33社） ・説明会に出展する市内企業に参加料を半額助成する。（7社出展 27,500円/社 助成金計192,500円）	

評価の視点		R4評価	R5評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
6 評 価	妥 当 性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1	妥当である	
					② 目的の妥当性	1	妥当である	
					③ 対象の妥当性	1	妥当である	
	有 効 性	B	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価点への影響低い	① 目標達成度	2	目標どおり	
					② 類似事業の有無	1	なし	
					③ 上位施策への貢献度	1	高い	
	効 率 性	B	B	進め方等の改善が必要	① コスト効率	2	普通	
					② 実施主体の適正化	1	適正である	
					③ 負担割合の適正化	1	適正である	
1 次 評 価	結果 (課長総括)	B	A	計画どおり事業を実施することが適当		不要		
	今後の方針	○ 現状を維持	方針の説明等	市内企業が市内の高校生の採用を求めているにもかかわらず、知名度不足から思うように採用が進まない現状を踏まえ、現在の高校生向けの企業説明会を開催し、市内企業の説明会出展を支援する必要がある。(大学生等向けについては、県庁が開催していることや市内に多くの大学が存在しないことから市主催の開催を平成31年度で終了とする。)	2 次 評 価			
		事業の拡充						
		事業の縮小						
統合等の検討								
	終了又は廃止・休止							

1 基本項目	事務事業名				女性活躍推進事業	担当部署	課等名	商工観光課				
	予算事業名				若者等雇用促進事業		係名	商工労働・企業立地係				
	事務区分				自治事務		電話番号	0765-23-6195				
	事業期間				開始年度	令和3年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名				目標3. 輝くまち				款	労働費	
		政策名				政策11. 新たな価値と活力を創出するまちづくり				項	労働諸費	
		施策名				施策27. 雇用・労働環境の充実				目	労働諸費	
		基本事業名				基本事業27-2. 労働環境の整備及び多様な働き方の支援				総合計画主な事業		記載あり（評価対象）
	根拠法令								総合戦略との関連		関連あり（評価対象）	
	アウトソーシング導入状況				アウトソーシング導入済（業務委託）				集中プランとの関連		関連なし	

2 事業概要	事業概要	職場における管理職やリーダーとして必要なスキルや知識を身に着けるなど、魚津市内で働く女性のキャリアアップを目的に「うおづで輝く☆女性キャリアアップセミナー」を実施する。
	対象	魚津市内で勤務する女性
	手段 (活動指標)	「うおづで輝く☆女性キャリアアップセミナー」の開催
	意図 (成果指標)	セミナー参加者数

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動①	女性活躍推進に関するシンポジウム・セミナー開催件数	件	1	1	3	3	100.0%	3
	活動②								
	成果①	セミナー参加人数	人	26	93	20	26	130.0%	25

4 コスト情報	区 分		単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
	事業費 内訳	事業費合計 (A)	円	197,857	381,850	1,250,000	966,735	153.2%	1,250,000
		①国庫支出金	円		190,000	500,000	483,000	154.2%	500,000
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他（使用料、雑入等）	円				400,000		
		⑤一般財源	円	197,857	191,850	750,000	83,735	-56.4%	750,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	1,250,000	1	1	2	100.0%	2
		②年間所要時間	時間	200	200	200	400	100.0%	400
		③人件費（②×@ 3,956 円）(B)	円	791,200	791,200	791,200	1,582,400	100.0%	1,582,400
	総	費用 (A+B)	円	989,057	1,173,050	2,041,200	2,549,135	117.3%	2,832,400

5 取組内容	令和5年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	(事業の内容)	
	○女性育成塾 職場における管理職やリーダーとして必要なスキルや知識を身に着けるなど、魚津市内で働く女性のキャリアアップを目的に「うおづで輝く☆女性キャリアアップセミナー」を3回実施した。1回目（8/18）は、女性ならではのライフイベント等について、講師（㈱エスプールリンク酒井氏）の経験を踏まえた講演を行い、キャリアプランについて理解を深めることを図った。2回目（9/29）、3回目（10/30）では、他の参加者とのグループワークや、「ワークライフプラン」の設計を行い、キャリアとプライベートを両立した自身の姿を想像し、キャリアアップへの意識醸成を図った。 ○魚津市女性活躍「ファーストベンギン企業」パイロット事業費補助金（県制度の上乗せ） 専門家派遣費用や女性の健康課題に対応した設備導入に対し、補助を行うことで、女性活躍の分野で先駆的な取り組みを行う事業所を支援した。（R5、0件）	

評価の視点		R4評価	R5評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
6 評 価	妥 当 性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1	妥当である	
					② 目的の妥当性	1	妥当である	
					③ 対象の妥当性	1	妥当である	
	有 効 性	A	B	突発的要因あるいは目標値の設定見込が甘い	① 目標達成度	3	低い・未実施	
					② 類似事業の有無	1	なし	
					③ 上位施策への貢献度	1	高い	
	効 率 性	A	A	特に問題なし	① コスト効率	1	高い	
					② 実施主体の適正化	1	適正である	
					③ 負担割合の適正化	1	適正である	
	1 次 評 価	結果 (課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2 次 評 価	不要	
今後の方針		○ 現状を維持	方針の説明等	R3、R4と引き続き企業代表者や人事担当者を対象としたシンポジウムを開催し、R5はロールモデルの育成という観点で、市内で勤務する女性を対象にセミナーを開催した。しかし参加者より「管理職になるとプライベートとの両立ができない」などの消極的な意見があり、今後も女性活躍推進の取組みを支援する必要がある。				
		事業の拡充						
事業の縮小								
	統合等の検討							
	終了又は廃止・休止							